

【第六部】

大海人皇子 おおしあまのみこ 大和の大王家の皇子 631～

*

額田郎女 ぬかだのいらつめ 大海人皇子の妃。幼名は垂那（あだ） 632～

*

十市皇女 とおちのひめみこ 大海人皇子と額田郎女の子 647～

讚良皇女 ささらのひめみら 葛城皇子と美濃都子の娘。大海人皇子の妃 645～

木幡（倭媛皇后） こはた（やまとひめのおおきさき） 古人皇子の遺児。天智天皇の皇后 645～

*

太田皇女 おおたのひめみこ 大海人皇子の妃。かつての小足皇女（おたらしのひめみこ）

大津皇子 おおつのみこ 大海人皇子と太田皇女との子 663～

高市皇子 たけちのみこ 大海人皇子と宗形君との子 654～

忍壁皇子 おさかべのみこ 大海人皇子と穴戸臣との子 648～

葛野皇子 かどののみこ 十市皇女の子 669～

弓削皇子 ゆげのみこ 大海人皇子の子 674～

*

天智天皇（豊璋王子） ほうしょうおうじ（てんじてんのう） 百済の王子。日本の天皇になる

大友皇子 おおとものみこ 天智天皇の子

高坂王 たかさかのきみ 百済の王族。飛鳥の留守司（るすのつかさ）

山部王 やまべのきみ 百済の王族。近江方の大將軍

中臣鎌子 なかのおみのかまこ 近江京の大官

藤原不比等 ふじわらのふひと 中臣鎌子と安見娘との子

郭務宗 かくむそう 唐の使節

*

中臣金 なかのおみのかね 中臣鎌子の従弟。近江京の右大臣

蘇我赤兄 そがのあかえ 近江京の大官。近江京都の左大臣

蘇我果安 そがのはたやす 蘇我の一族。大友皇子の側近

蘇我安麻呂 そがのやすまる 蘇我の一族。大海人皇子に味方する

巨勢比等 こせのひと 近江京の大官

紀大人 きのうし 近江京の大官

*

穂積百足 ほづみのももたり 近江方の将

穂積五百枝 ほづみのいおえ 穂積百足の弟

物部日向 もののべのひむか 穂積百足の部下

大市八坂 おおちのやさか 穂積百足の部下

智尊 ちそん 近江方の将

羽田矢国 はだのやくに 近江方の将

境合部葉 さかいべのくすり 近江方の将

阿倍比羅夫 あべのひらふ 越（こし）の豪族。大和の水軍の大將軍

大伴吹負 おおとものふけい 飛鳥の小豪族

柿本人麻呂 かきのもとのひとまる 額田郎女の配下の歌人

*

村国男依 むらくにのおより 大海人皇子の舎人
 置始比等 おきそめのひと 大海人皇子の舎人
 置始宇佐伎 おきそめのうさぎ 大海人皇子の舎人。置始比等の子
 海部石床 あまべのいわとこ 大海人皇子の舎人
 朴本大国 えもとのおおくに 大海人皇子の舎人
 朴井雄君 えのいのおぎみ 大海人皇子の舎人
 稲置 いなぎ 名張の郡司

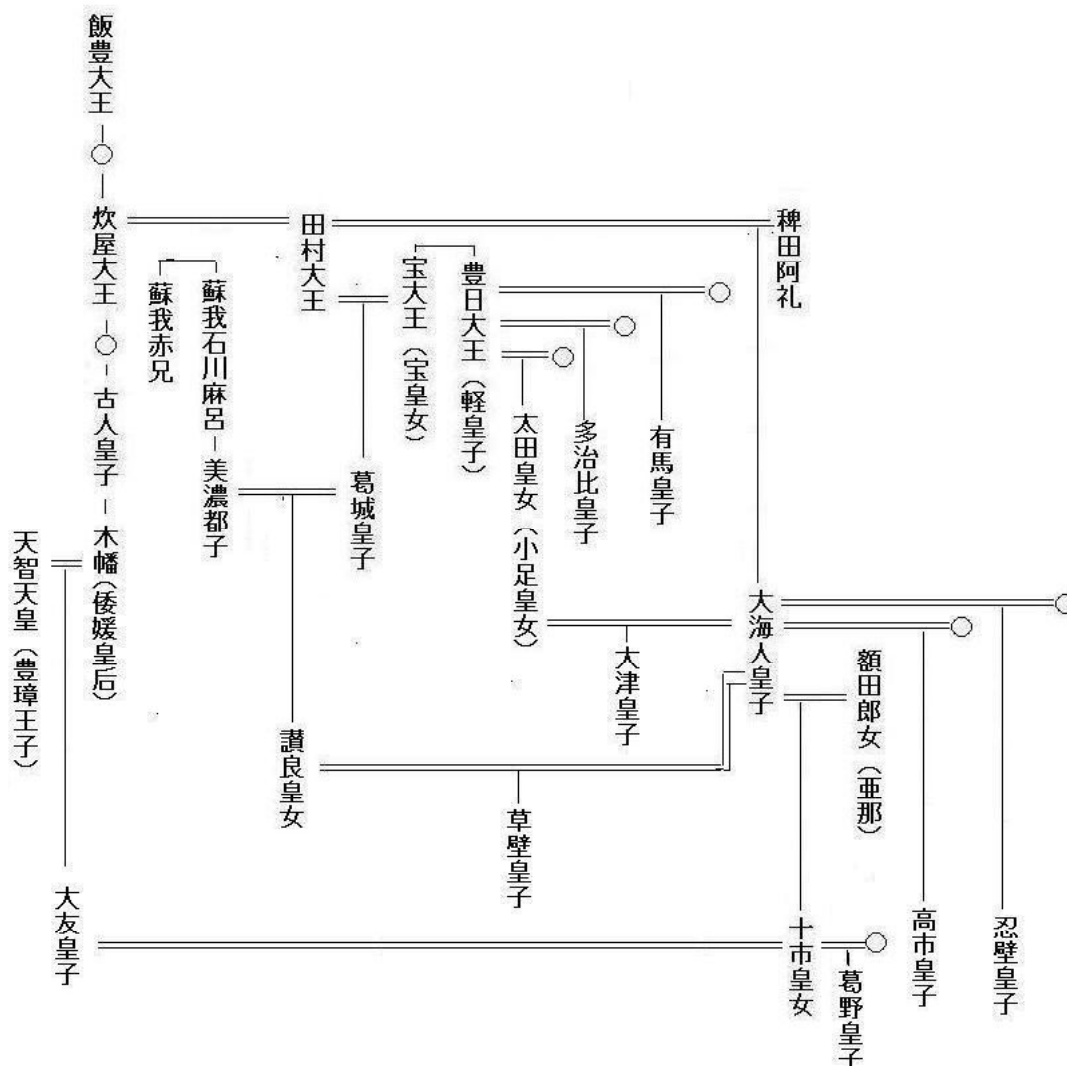
*

繭環 まゆわ 土蜘蛛
 鮎芽 あゆめ 土蜘蛛
 葉耶 はや 土蜘蛛
 結奈 ゆいな 土蜘蛛
 瀬莉 せり 土蜘蛛

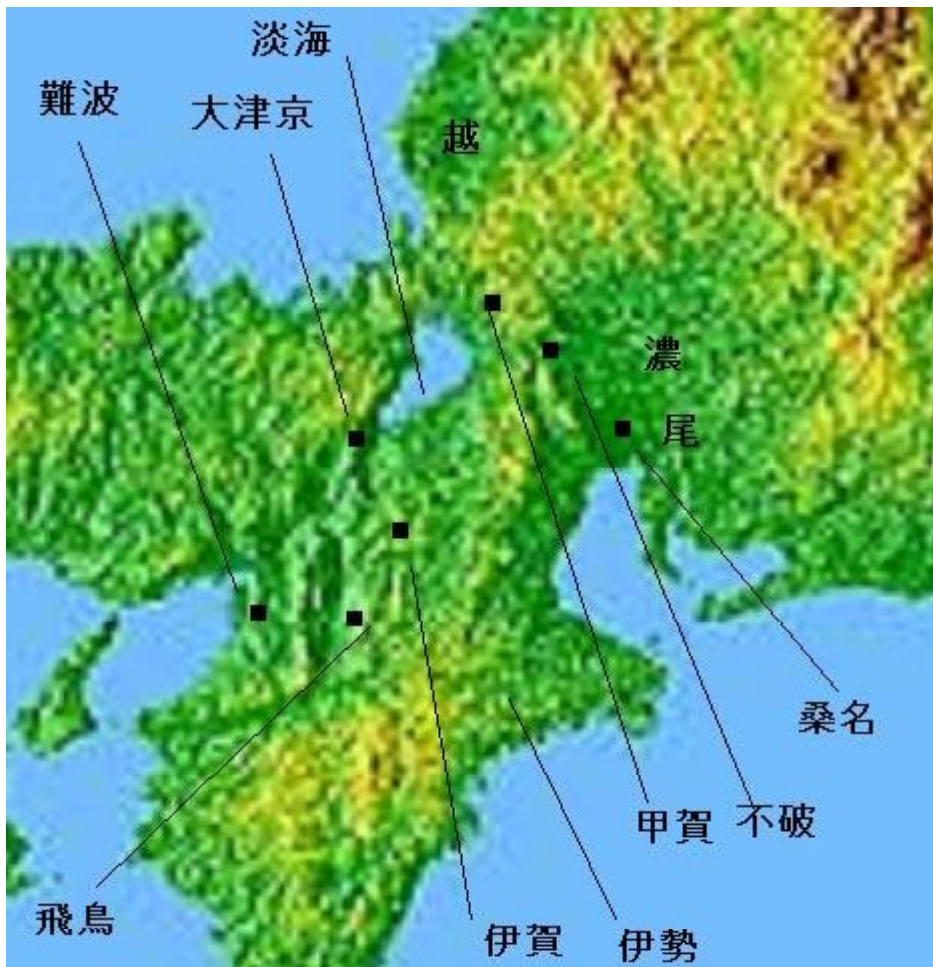
*

安見娘 やすみこ 土蜘蛛。中臣鎌子の妻 626～
 鏡郎女 かがみのいらつめ 土蜘蛛の長 623～

系図



関連地区



関連地図②壬申の乱／大海人皇子、高市皇子の脱出ルート



関連地図③壬申の乱

